

氷川学園広報部

〒869-4602 八代郡氷川町宮原1116

TEL(0965)62-4081

FAX(0965)62-4080

Mail hikawagakuen@seiryu-hikawa.com

HP <https://hikawagakuen.com/>

氷川学園

あゆみ



迎春



謹賀新年

誰かのため・・・

新年あけましておめでとうございます。2022年・令和四年の寅年、陽射し穏やかな元旦を迎えることが出来ました。年末までのコロナの感染状況の減少傾向を踏まえ、二年振りにご家族のもとでのお正月を過ごすことが叶った人たちもいます。久しぶりのご家族との時間を楽しんで来られたことは何より嬉しく思うことです。残念ながら、学園で、またグループホームでのお正月となった人たちも、スタッフの色々な工夫・配慮で、楽しい時間を過ごすことが出来たのではないかと思っております。昔ながらのお正月遊びや、園内に設けた神社（おみくじ有り）への参拝、またドライブの形をとっての三社参りに出掛けた人たちもいます。

年明けとともに、感染状況が一気に増加傾向に転じた現在となつては、ギリギリの時期での外泊・外出の実施が出来たことは、せめてもの、幸いでした。

元旦の午後には、我が家にも二年振りにお年始に訪れてくれたグループもありました。恒例の事でもありますが、手に握りしめたお金を、初代の施設長の仏前にあげられる方々、バッグの中から初代と一緒に写った写真を取り出し、これも上げてくれと渡される方、スタッフに聞くと、前夜から準備されていたとのこと、高齢の母と私に向けても「病気せん

でね。元気でおらんよ。」と体調を気遣ってくれる言葉がけ、この人たちの律儀な心映えに、こちらの心が温かくなります。支援する側・される側という関係性を超えた人と人としての繋がりが芽生えているから出てくる行為と受け止めます。

我が法人・清流会の理念は「共に在りたいと願い・・・彼のためにではなく、彼と共に在ることを喜びとする」です。世の中に数多有る職業の中から、この職を選び、又その中から、この法人を選んで勤めている、「共に在りたい」と願ったのは、私・自分自身であること、誰に強要されたことでもなく、自らが願ったことであること、常に忘れずにいたいものです。そして、誰かのために、何かをやつてあげているという傲りの姿勢からの行為ではなく、彼らと、この人たちと一緒にいる、共に在ること自体が、自身にとっては喜びであると感じていける心根を持ちたいと願います。誰かのために、やつてあげているという視点で物事を進めていくと、相手が自分の思うように動いてくれない時、意に反した行為が返ってきた時に、少なからず、自分の中に憤怒が湧くものではないでしょうか。そして、その上に相手を自分の意に添うように動かそうと躍起になるかもしれない。残念なことです。

昨年一二月号の「障害者と雇用・働く広場」という月刊誌のなかにエッセイ「配慮は人のためならず」という記事が有りました。「合理的配慮」

桜の樹の下で

という言葉は、既に周知のことですが、精神科医・産業医である筆者「原雄二郎氏」は、合理的配慮についてよく相談を受けられるとのことでした。合理的配慮とは、障害者権利条約によると「障害者が他の者との平等を基礎として全ての人権及び基本的自由を享有し、又は行使することを確保するための必要かつ適当な変更及び調整であつて、特定の場合において必要とされるものであり、かつ、均衡を失した又は過度の負担を課さないもの」とあります。原氏は「つまり、ある障害によつて、その障害のない者との間に何らかの不等が存在する場合、過度な負担がなければ、その不等等を解消するようにするということ」とされています。

原氏のエッセイの中で、障がいの有る人を雇用する職場側に実際にアドバイスを行う内容として、「過重な負担を避ける」「体調に留意して、こまめにコミュニケーションをとる」「強みを見つけて、強みを活かせるような業務を行わせる」「具体的に明確な指示出しをする」「お互い助け合うような職場の雰囲気づくりをする」などを挙げられています。読んでいて思ったのは、これらは障がいの有る人たちへの配慮に限らず、極一般的に、自分たちの職場にも共通する内容ではないかということでした。原氏は「結局、最後は『同じ人である』ということだろう・・・中略・・・全ての人のためならず、である。」

と結ばれています。

この合理的配慮を實行していく時に一番大事なのは「話し合うこと」だと思っております。配慮して欲しいことと、配慮すべきこと、出来ることとが、互いに一致して直ぐ可能な場合は即実行すればよいが、そこに過度とまではいかずとも、何らかの努力を要することは多いものではないでしょうか。即座に解消できないことも、互いの言い分をしつかりと聴く、相手と向き合い話し合うという行為を重ねていく、そのプロセスが大切なのではないと思えます。また、法人の理念にも通じますが、誰かのためにやつてあげるといふ狭い考えではなく、そこで配慮したことは、全ての人にとって有益であることが大半ではないかということだと思います。階段をスロープやエレベーターなどの設置を伴えば、普段障がい無くとも、一時的な怪我や体調不良により助けられることは多々有るだろう、何より人は必ず歳を重ねていけば、身体に何らかの不都合を生じるものだからです。特定の人、一握りの特別な人のためと考えるのか、全ての人にとつてと考へて、向き合っていくことが出来れば、誰をもが暮らしやすい、生きやすい世の中になるのは明白なことではないでしょうか。それは、必ず自分自身に返ってくる。誰かのためでなく、です。

「人生はまさにブーメランド。人に与えたものは手元に返ってくる。」

施設長 西坂千賀子
(カーネギー)

40周年記念

支援員の窓<氷川学園全員集合>

～ 四字熟語 抱負 ～

【一長一短】

梅田 敬二

【悠々自適】

中島 瑞穂

【体質改善】

本村 洋介

【切磋琢磨】

山下 智行

【感恩報謝】

林 佐和子

【一意専心】

本田 優子

【誠心誠意】

山田 愛

【雨過天晴】

林 汰樹

【試行錯誤】

坂田 哲人

【臥薪嘗胆】

瀬上 雅貴

【背水之陣】

二日市 究

【進取果敢】

川崎 駿介

【一路順風】

武藤 英生

【無病息災】

平崎 珠貴

【医食同源】

下田 浩子

【一期一会】

山下 孝治

【原点回帰】

村山 智

共に在りたいと願い…



社会福祉法人 清流会

【勇往邁進】

伊佐 優美

【一燈照隅】

西坂 千賀子

【一心不乱】

坂口 拓真

【君子九思】

芥川 京子

【一言芳恩】

五反田 莉沙

【一攫千金】

富吉 一樹

【脚下照顧】

増田 せい子

【不言実行】

村崎 由花

【善因善果】

竹崎 千鶴

【勤儉力行】

下部 美幸

【山溜穿石】

松坂 紗智子

【初志貫徹】

島田 英里香

【夫婦円満】

長尾 吏美

【猪突猛進】

山形 奈緒美

【笑門来福】

松永 静

【一日一生】

岩崎 京子

【桜梅桃李】

松本 いくみ

【相互扶助】

甲斐 謙一郎

【虚心坦懐】

濱 佑香

【精励恪勤】

今村 貴子

【万里一空】

園田 美和

【手前味噌】

清田 芳浩

【温故知新】

松本 明治



栽培

制作



松ぼっくりのクリスマスツリー

氷川からの冬だより



ドライブ

東陽町 石橋公園へ



秋を満喫



河俣方面へ

生地をまぜまぜ



カップケーキ作り



レクリエーション



うちわ体操

清掃活動



調理

カステラボール



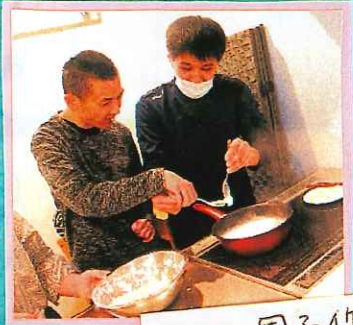
誕生日会



誕生日者の皆さんで記念写真



ご家族からお花のお祝い



きなこ団子作り

11月



お楽しみはリース飾り

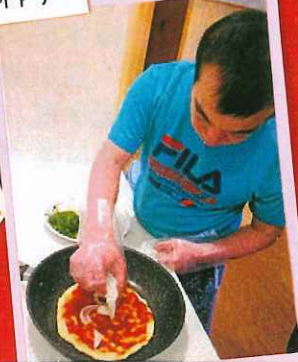
12月



おめでとうございます



ピザ作り



好みの具材をトッピング

サンタ登場!!



みんなでクリスマスツリー飾り付け

クリスマス忘年会



プレゼント中身は何かな!?



好きなオーナメントを選んで



入所部玄関のイルミネーション

お楽しみはカラオケ



賑やかなクリスマスパーティー!



氷川学園神社が登場!!

おとし



良い一年に
なりますように

豪華な手作りおせち



千賀子さん宅へ



新年のご挨拶

お正月



おみくじ 今年の運勢は!?



目隠して福笑い挑戦!!

